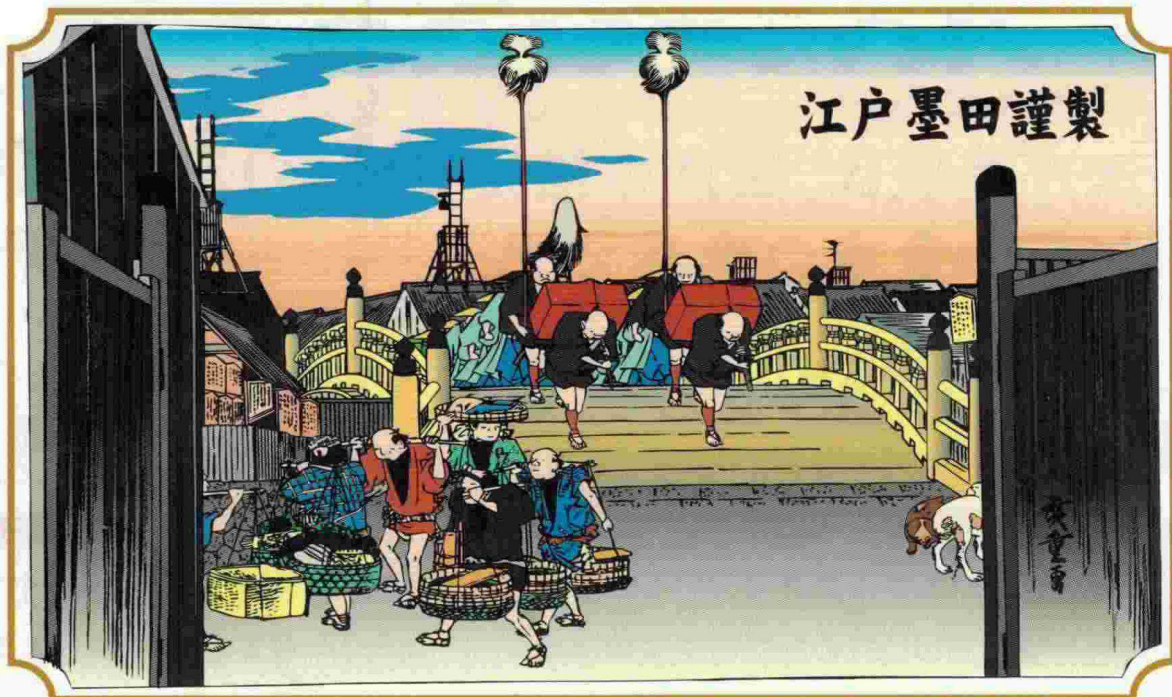




江戸  
開府  
400  
東京



# 江戸美袋

edo-minagi

えどみなぎ

東京産の本革に、江戸の伝統と、東京の技術を融合させた  
世界に誇れる逸品です



## 江戸小紋

江戸の粹(いき)を現代に伝える江戸小紋。これまで困難とされてきた本革に、熟達の技術で染めることができました。



## 江戸更紗

江戸文化の華やかさを感じさせる江戸更紗は、江戸の技術を伝承する職人の緻密な技と感性によって作られます。



## インクジェット

最新技術の開発により日本で初めて豚革にインクジェットプリント染色を施しました。ベースになる革は体に優しい天然タンニンなめしです。



江戸  
開府  
400  
東京

## 江戸美袋は、江戸の伝統を活かした、 新しい東京の逸品です。

### 江戸小紋・江戸更紗

大松染工場で作られる「江戸美袋」用の江戸小紋と江戸更紗には、遠く江戸の時代から受け継がれてきた技が息づいています。江戸小紋に用いられる伝統の型染め技法。なかでも小紋柄を彫り抜いた型紙を天然革にのせ、その盤に防染糊を置いて均等にヘラでのばして「型付け」する工程は最も重要です。少しでも柄がずれないように、1ミリにも満たない点や毛筋ほどの線でできている模様がつぶれないように、息の抜けない慎重な作業の連続です。本革の場合、一枚一枚厚みや染料の浸透度が異なるため、その染め具合を見極める作業は困難を極めます。一方の江戸更紗も、型紙と染料をしみ込ませた丸刷毛を使用する昔ながらの型紙摺り技法により、何回も何回も異なる色を刷り込んで美しい色模様を作り上げます。模様がずれたらその価値が下がるのは小紋と同様です。江戸小紋と江戸更紗は、職人たちの気の遠くなるような手間と集中力、そして熟達した技なくしては生まれないのです。



伝統工芸士  
すみだマイスター  
**中條隆一**

### インクジェット

厚さや組成が均一な紙や布と違い、印刷面の形状、表面、厚さや染料の浸透度が異なります。そのため、たった1m20cm四方形の革に鮮明なプリントをするためにも、様々な技術と知恵が必要なのです。

江戸美袋で用いているプリント用の白革は、絵や写真が鮮明にプリントできるように最適に作られている、オルガノ（墨田区の福島化学工業製造）を使用しています。また、この素材は肌にやさしい天然タンニンでなめしています。

インクジェットプリンターは、皮革用染料をえるように特別に開発されたものを使用しています。1枚1枚異なる革にきれいにプリントするために、プリント面を整える作業、プリント画の調整、プリント、にじんだり・色落ちしないように後処理という工程を経ているのです。

■販売・生産に関するお問い合わせ  
有限会社 田中幸商店  
〒130-0004 東京都墨田区本所1-11-7  
TEL.03-3624-4766 FAX.03-3624-4767

■江戸小紋・江戸更紗の染色に関して  
有限会社 大松染工場  
〒131-0041 東京都墨田区八広2-26-9  
TEL.03-3611-5019 FAX.03-3611-3533

■企画・デザイン・革素材に関して  
デザイン・ティー・ルームス 担当/徳永  
〒144-0055 東京都大田区仲六郷4-13-10-309  
TEL.03-5744-7382 FAX.03-5744-7383